

5. 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)と涼み処

事例1. 青森県むつ市 むつ市立図書館での「クーリングシネマ」

- 市有施設でのクーリングシェルター開設に合わせ、通常の図書館営業に加えて、普段は講演会等を対象に団体向け貸出に対応しているミニシアター「視聴覚ホール」を“涼みどころ”として開放し、**上映設備と図書館で所蔵している映画DVD等を活用して、映画を観ながら涼める時間と空間を提供。**
- 図書館休館日についても、閲覧エリア以外は開放。

むつ市立図書館の COOLING SHELTER はじめました クーリングシェルター

+ a の仕掛け
8/7 >>> 8/31
COOLING CINEMA

避暑スペースとして視聴覚ホールを開放。大画面で所蔵映画をひねもす上映。COOL(涼)でCOOL(良)な夏のひとときをご提供します。

もちろん無料 自由に入退場

館内およそ200席
快適な温度です
水飲み場あります
いつもの図書館
給水できます
自動販売機あります



- 上映日数 : 22日間
- クーリングシネマの延利用者数: 380人
- 実施期間中の図書館来館者数の伸び : 112%
(コロナ禍前3カ年(H29~R1)平均との比較)

※当館がカバーする下北半島地域には映画館がないことがポイント。

「クーリングシェルター」として開放されたむつ市立図書館

7月の初めから、連日のように真夏日が続くむつ市。厳しい暑さを避けてもらうと、市は7日、市有12施設を「クーリングシェルター」(通称・涼みどころ)として開放する取り組みを始めた。改正気象変動適法に基づき「指定暑熱避難施設」の位置づけ。期間は9月30日まで。

各施設の待合ホールや交流スペースを休憩場所として自由に利用してもらう。開放日時は、開館時間や休館日、スペースの貸し出し状況などによって施設ごとに異なる。

開放施設の一つ、市立図書館は視聴覚ホールとファンスペースをクーリングエリアとし、室温は25度前後に設定しており、水飲み場なども備えている。開放に合わせて、視聴覚ホールではクーリングシネマと題し、31日まで毎日4本ずつ所蔵DVDによる映画上映を行う。館内工事を7月22〜24日は除く。

7日のむつ市の最高気温は25.5度だったが、8日は降は30度以上となる予報。図書館で事業開始を発表した山本知市長は「高齢者の方は家で、(暑さを)我慢する傾向がある。各施設に気兼ねなく来ていただきたい」と呼びかけた。

同図書館以外のクーリングシェルターは次の通り。

▽市役所 本庁舎、川内庁舎、大畑庁舎、野沢庁舎▽下北文化会館▽むつ来さい船中中央公民館▽北の町大隈 安藤館、武蔵館、みどり町のさきもり館▽総合福祉センター(ふれあい館)

東奥日報2023年8月8日朝刊

■ **コメント**
「いつもの図書館」で十分クーリングシェルターの役目は果たせますが、今あるリソース(ミニシアター・所蔵DVD)を活かし、ちょっとした仕掛けをすることで「図書館ってこんなこともしているんだ!」というインプレッションを市民にお届けしたいと考えたのが企画のスタート。

■ **苦労した点**
上映権付きの映像資料は高価で所蔵数も限られるため、ラインナップを構成するのに苦慮した(次年度以降も継続の要望が多いので今後もDVD資料に予算を割く必要がある)。

■ **工夫した点**
青森県下北地域県民局のご協力を得て、映画と映画の合間には局が制作した下北半島の観光PR動画で繋ぎ、こちらも好評を得た。次年度は、熱中症対策のPR動画等も併せて上映したいと考えている。